



風と心



発行 岩手県立胆沢病院
編集 広報委員会

〒023-0864
岩手県奥州市水沢字龍ヶ馬場61
TEL 0197-24-4121
FAX 0197-24-8194

第3回医療情報コーナーイベントのお知らせ 「がん薬物療法」

がんの薬物療法は、がんを治したり、がんの進行を抑えたり、がんによる症状を緩和したりすることを目的として行います。

がんの薬物療法について、当院の医師・薬剤師が分かりやすく講演します。

【開催日時】 令和8年10月28日(水) 14時～15時

【講師】 血液内科長 吉田 こず恵 (日本臨床腫瘍学会 がん薬物専門医・指導医)

主査薬剤師 城戸 直人 (日本臨床腫瘍薬物学会 外来がん治療専門薬剤師)

【会場】 岩手県立胆沢病院 ヘリポート会議室



病院正面駐車場の西側にヘリポートがあり、その1階に会場となるヘリポート会議室がございます。



【その他】 申込不要、参加費は無料です。

【問合せ先】 平日9時～17時 地域医療福祉連携室 TEL: 0197-24-4121 (代表)

岩手県立胆沢病院 基本理念

私たちは、地域の人々の健康と命を守るため、愛を持って地域医療に貢献します。

かけがえのない“腎”生のために

腎臓内科長 菊池 調

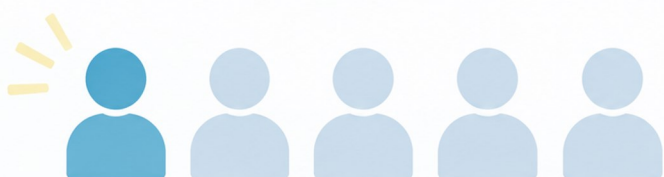
私たちの体には、左右に一つずつ「腎臓」があります。腎臓は、血液から余分な水分や老廃物を取り除いて尿をつくるだけでなく、血圧や体内の水分・電解質の調節、赤血球をつくる働き、ビタミンDの調節など、生命を維持するために重要な仕事をしています。

ところが、腎臓は「沈黙の臓器」と呼ばれています。腎臓の働きがかなり低下しても、なかなか自覚症状が現れないことがあるからです。「症状がないから大丈夫」と思っているうちに、知らない間に腎臓の病気が進んでいることがあります。

その代表が慢性腎臓病（CKD）です。CKDは、①尿蛋白など腎臓の障害がある、または②腎機能を示す「eGFR」が60未満である状態が、3か月を超えて続く場合に診断されます。CKDは決して珍しい病気ではなく、日本では約2,000万人、成人のおよそ5人に1人が該当するとされています。さらに、腎臓だけの問題ではありません。CKDは心筋梗塞や脳卒中などの心血管疾患の重要な危険因子でもあります。

慢性腎臓病（CKD）は、自覚症状のない“新たな国民病”

日本では約**2,000万人**
成人のおよそ**5人に1人**が
慢性腎臓病（CKD）



腎臓を敵から守ろう!!

では、腎臓を守るためにはどうすればよいのでしょうか。

ポイントは、「早く見つけて、早く対策する」ことです。腎機能が一度低下すると、完全に元の状態へ戻すことが難しい場合があります。そのため、血圧・血糖の管理、禁煙、適正体重の維持、適度な運動、十分な睡眠など、日々の生活習慣を見直すことが大切です。高血圧や糖尿病はCKDの代表的な原因であり、「体に悪いものは腎臓にも悪い」と考えて、健康的な生活を心がけましょう。



毎年、検診を受けましょう！

そして、何より大切なのが毎年の健診です。血液検査でわかるeGFRは「腎臓というエンジンの性能」、尿蛋白は「エンジンのオイル漏れ」、尿潜血は「エンジンから出る火花」に例えることができます。自覚症状がなくても、これらの検査から腎臓の異常を早期に見つけることができます。まさに健診は、腎臓の「定期点検」です。

腎臓は、私たちが気づかないところで、毎日黙々と働いてくれています。

「症状がないから大丈夫」ではなく、「症状がない今こそ腎臓を守る」。

一度きりの大切な人生を、そして一度きりの“腎”生をできるだけ長く健やかに過ごすために、まずは年に一度、ご自身の腎臓の状態を確認してみませんか。

新任医師の紹介

- ① 職名 ② 専門分野
③ 趣味 ④ ひとこと



きむら しゅんさく
木村 俊作

- ① 血管外科医長
② 血管外科
③
④ よろしく申し上げます。



あらかわ かずや
荒沢 和也

- ① 医師（循環器内科）
② 循環器一般
③ 旅行、お酒
④ 地域の皆様の健康が維持されるよう尽力いたします。



ひきち はやと
引地 隼人

- ① 医師（消化器内科）
②
③ 野球観戦、ラーメン巡り
④ 岩手県にはじめて参りました。地域の皆様の健康をサポート

医師退職のお知らせ

令和8年9月30日付

鬼澤 民雄 参与兼精神科長
神保 琢也 消化器外科医長



年末年始の診療体制について

下記の期間、外来診療（全科）を休診し、当直医師による救急診療体制となります。

12月29日（火）～1月3日（日）

※救急受診の際は、電話にてお問い合わせください。

岩手県立胆沢病院（代表）0197-24-4121

※受診の判断に迷われる場合は、

#7119（岩手県救急安心センター、24時間・年中無休）

#8000（小児救急医療相談、24時間・年中無休）

へご相談をお願いします。